

平成31年「彩の会」春の例会報告

桜の開花だよりが聞かれ始めだした3月26日(火)、写真の会「彩の会」の撮影会を兼ねた春の例会が、8名の会員の参加者を得て滋賀県近江八幡市一帯で開催されました。

午前8時半に名古屋の金山総合駅に集合し、会員の運転するレンタカーで近江八幡に向かいました。名神高速道を走り八日市ICを下りて、午前10時半過ぎ八幡山ロープウェイ下の駐車場に着きました。悲劇の将豊臣秀次が建てたという八幡山城があった山頂までロープウェイで上がり、琵琶湖を見下ろすことができる展望台まで歩きました。桜はまだ少し早くつぼみの状態でしたが、春霞の景色の中、眼下には琵琶湖の広大な湖面が広がり、対岸の比良山系の山々にはまだ雪が残っているのも望めました。「琵琶湖周航の歌」で有名な長命寺や近江富士の三上山なども近くに望めました。

昼前まで撮影した後、近江八幡国民休暇村へ移動し、近江牛や琵琶湖八珍のランチを食べながら例会を開催しました。今年は久しぶりに新しい会員もお迎えし、各々の近況報告やカメラ談義に花が咲きました。昼食後、それぞれが持ち寄った自慢の作品を展示して品評会を開きました。

午後2時過ぎ例会を終え、秋の再開を約束して帰途に着きました。

【参加者】高澤、小木曾、佐藤、富田、吉田、藪田、都築、鈴木（敬称略）

（鈴木 記）



（近江八幡国民休暇村前にて）



(眼下に広がる琵琶湖と比良山系)



(近江富士の三上山)



(例会風景)



(例会風景)